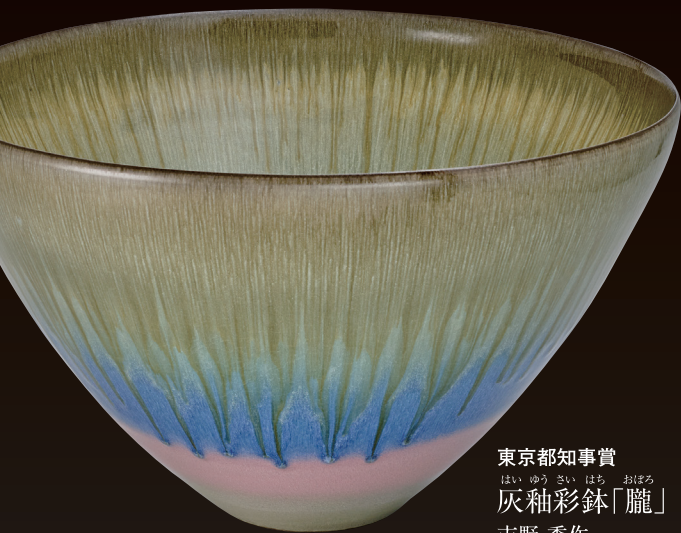


# The 73rd JAPAN TRADITIONAL Kōgei EXHIBITION



伝統はつねに  
現在する  
300余点の  
スケールで一堂に

東京都知事賞

はい ゆう さい はち おぼろ  
灰釉彩鉢「朧」

市野 秀作

丹波の里山の朝霧に霞む幻想的な夜明けの情景を、陶芸ならではの表現である釉薬の流れで表現しました。

文部科学大臣賞

うき おり き ぎぬ き もの き さめ  
浮織生絹着物「樹雨」

宮入 映

厳粛で生命感に満ちた深い森に流れる霧が、樹木にとらえられて雨のように降る「樹雨」。一条の光とともに、表現したいと願っていた故郷の懐かしい情景です。



第73回

# 日本伝統 工芸展

大阪展

2026.10.14<sup>WED</sup> - 10.18<sup>SUN</sup>



大阪高島屋7階 グランドホール

ご入場時間＝午前10時～午後6時30分(午後7時閉場) 入場料〈税込〉＝ 一般500円(300円)／大学生以下無料

※最終日10月18日(日)は午後4時30分まで(午後5時閉場) ※( )内は前売りの割引料金。前売券は、セブンチケット(セブンコード:117-249)、ローソンチケット(コード:56098)にて9月9日(水)から10月13日(火)までお求めいただけます。※当催については、「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。 ※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。 ※都合により、催し内容・会期などが変更または中止になる場合がございます。最新の情報は日本工芸会近畿支部のホームページをご覧ください。

主催＝大阪府教育委員会、NHK大阪放送局、朝日新聞社、日本工芸会 後援＝大阪市 協賛＝パナソニック ホールディングス株式会社 特別協力＝日本通運株式会社

列品  
解説

10月14日(水) 午後2時〈陶 芸〉石橋 裕史  
10月15日(木) 午後2時〈染 織〉村上 良子 重要無形文化財保持者  
10月16日(金) 午後2時〈漆 芸〉江藤 國雄  
10月17日(土) 午後2時〈木竹工〉宮本 貞治 重要無形文化財保持者  
午後3時〈金 工〉角谷 圭二郎  
10月18日(日) 午後2時〈諸工芸〉中村 佳睦  
午後3時〈人 形〉井上 楊彩

自作を  
語る

10月16日(金) 午前11時〈陶 芸〉市野 秀作  
10月17日(土) 午前11時〈染 織〉宮入 映

特別  
展示

わざを伝える

「小石原焼」福島 善三  
重要無形文化財保持者

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついだ優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

このたび、第73回展を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品300余点を一堂に展観いたします。



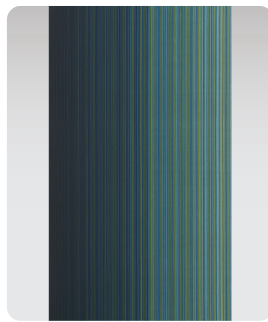
日本工芸会総裁賞  
はな かご とう せい  
花籃「濤声」  
大木 淑恵



高松宮記念賞  
あい づ けし ふん まき え うるし ばこ  
会津消粉蒔絵漆箱  
「谷渡りの風」  
須藤 靖典



NHK会長賞  
じん だい けやき づくり ふき うるし ばこ  
神代櫨造拭漆箱  
「生々流転」  
林 哲也



朝日新聞社賞  
こ ぐら じま も めん おび  
小倉縞木綿帯  
「アブストラクト 黒蝶」  
築城 則子



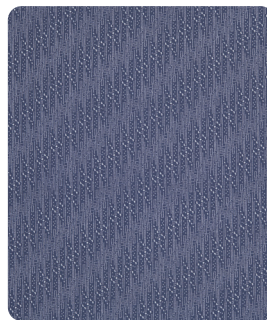
日本工芸会会長賞  
ぞう がん か き  
象嵌花器  
「暮れ色の運河」  
村上 浩堂



日本工芸会保持者賞  
けやき ふき うるし もり き はん しょう  
櫨拭漆盛器「帆翔」  
川口 清三



日本工芸会奨励賞  
も も タ マ ナ  
モモタマナ  
中田 博士



日本工芸会奨励賞  
え ど こ もん き じゃく  
江戸小紋着尺  
「Shi to Shi to」  
小宮 康義



日本工芸会奨励賞  
つい しつ ぞう がん こ とり おき  
堆漆象嵌小鳥置  
手引手小簞笥  
石原 雅員



日本工芸会奨励賞  
もく しん とう ぞ ぬの わ し ばり  
木芯桐塑布和紙貼  
「リズム」  
野田 リツ子



日本工芸会奨励賞  
しっ ぽう ふた もの りゅう ひょう  
七宝蓋物「流水」  
安藤 令子



日本工芸会新人賞  
せい ぱく じ ちやう もん か き  
青白磁彫文花器  
「流景-2026-」  
浦郷 壮



日本工芸会新人賞  
く る め かすり き もの  
久留米絣着物  
「皓月の夜」  
加藤 伸子



日本工芸会新人賞  
び わ けん  
びわ研  
中村 一姫

同時  
開催

「工芸の美—未来へ—」

7階グランドホール前 特設会場

第73回展出品作家による暮らしに寄り添う作品を展観いたします。

お問い合わせ先

公益社団法人 日本工芸会近畿支部

〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上る  
京都府京都文化博物館内

TEL. 075-252-5205 <https://nihonkogeikaikinki.jp/>

展覧会  
情報はこちら



English  
information

